

東区 区ビジョン基本方針

区の概要

《地理》

東区は旧新潟市の中地区と東地区及び石山地区の一部で構成されています。区の北側は日本海に面し、西に信濃川、栗ノ木川、東に阿賀野川、東西を横断する形で通船川が流れています。

古くからの中心地から東側に伸展した市街地で、国際空港・港湾を有しています。また、区内にある山の下みなとタワーは、日本海の夕日を一望できる人気スポットとなっています。

《産業》

区内には大規模な重工業から軽工業、多様な規模の小売・サービス業や卸売業などがあり、商工業が振興しています。また、農業分野では、男爵いもやいちごをはじめとしたさまざまな農産物が生産されており、地産地消の都市近郊型農業も展開されています。

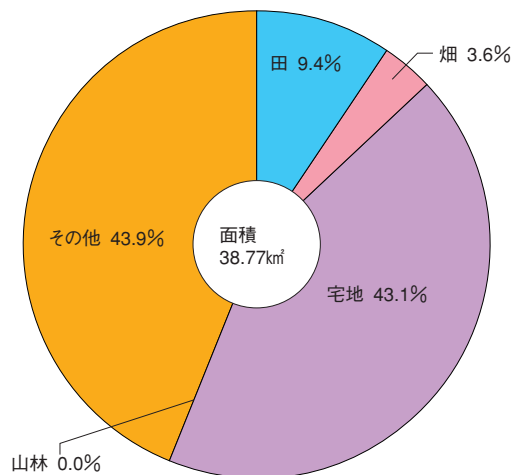
《交通》

主要な道路は、国道7号、国道113号、県道新潟新発田村上線が東西を通り、それらと南北に縦断する県道新潟港・横越線(通称:赤道)とが結ばれています。鉄道は、区の南部をJR信越本線とJR白新線が通っており、3駅が設置されています。バスは、市中心部と結ばれた路線で主に東西方向に運行されています。



新潟西港

土地利用



※その他：道路、公共施設、水面、自然地など
(H19.1.1新潟市調べ)

《基礎データ》

項目	東区	
人口	総人口(人)	139,565
	男(人)	67,469
	女(人)	72,096
世帯数(世帯)	52,747	
農業	農家戸数(戸)	432
	農家人口(人)	2,261
	経営農地面積(a)	74,457
工業	事業所数(所)	257
	従業員数(人)	8,769
	製造品出荷額等(億円)	2,599
商業	商店数(店)	1,668
	従業員数(人)	13,668
	年間商品販売額(億円)	5,336

(出典) H17年国勢調査, H12世界農業センサス
H16年工業統計調査, H14商業統計調査

区の将来像

暮らしと産業の調和を活かした、世界と共生するまち

区の担う役割

- 都心に近接する地理的条件を活かした快適な居住地としての役割を担います。
- 空港と港湾を有する区として、国内各地や海外とのネットワークの拠点となる機能を担います。
- 大規模な重工業から軽工業まで大小ある工場により、市内製造業の拠点としての機能を担います。

目指す区のすがた

《安心・快適で利便性の高いまち》

- 地域のマンパワーや人的ネットワークを充実させ、福祉、防犯・防災、環境保全など地域が抱える課題に取り組むことにより、人にやさしく、安心・安全に暮らすことができるまちを目指します。
- 交通機能のさらなる向上と生活関連環境・施設の充実により、職住近接で利便性の高いまちを目指します。

《産業が振興するまち》

- 工場や卸売業と多様な機能・規模の小売店舗がバランスよく配置されるとともに、地産地消の都市近郊型農業も展開される、活気ある産業のまちを目指します。

《水と親しみ豊かな自然につつまれるまち》

- 通船川、栗ノ木川、阿賀野川、信濃川、そして日本海など、豊かな水辺と人々が親しみ、地域の自然環境を大切にすやすらぎと憩いのあるまちを目指します。

《空と海の玄関口のまち》

- 国際航空路線の開設・拡充や空港アクセスの強化とともに、国内外の海上輸送ネットワークを充実することにより、世界への玄関口にふさわしい、人が集まる魅力を備えた拠点性の高いまちを目指します。



新潟空港

まちづくりに向けた施策の方向

(1) 安心していきいき暮らす環境の整備

① 安心とやさしさの環づくり

区民が行政と共に考え、行動することにより、積極的に地域の環境づくりや防犯・防災に努めていきます。

子育て支援や高齢者の生きがいづくりなどを進め、助け合い支え合う地域づくりを推進します。

② 個性ある地域文化づくり

地域に伝わる歴史・文化を認識し、継承していくとともに、心の豊かさをはぐくみ、地域の活力につながる文化活動を振興していきます。

③ 体育施設の整備

体育施設の整備や学校などの活用により、市民がスポーツをする機会を増やし、心身の健康と生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。

(2) 交通網の整備

① 幹線道路などの整備

幹線道路の整備や、区役所などの公共施設を利用しやすい公共交通網を整備することで、住民の交通利便性を高めるとともに、ヒト・モノの交流の拡大を図ります。

(3) 遊休地の有効利用

① 遊休地の整備と有効活用

大規模な工場跡地などの遊休地を、民間の力を活用しながら有効利用することにより、地

域の活性化を図ります。

(4) 親しめる水辺などの整備と活用

① 自然を活かした緑地、公園の整備

通船川の親水護岸整備や栗ノ木川も含めた河川緑地の環境整備など、自然環境を活かした憩いの空間を形成します。

② 港を活かしたまちづくり

港と緑地を活用することにより、港の風を感じながら余暇を楽しむ、潤いと賑わいの空間を形成します。

(5) 国内外に向けた交通基盤の整備

① 空港機能の強化、利用活性化

関連機関などと連携を取りながら、空港周辺の環境整備や国内外路線の開設・拡充、取扱貨物量の増加を図るとともに、利便性を高めるため空港アクセスの強化を図ります。

② 港湾施設の整備と利用活性化

市の中心部に位置する新潟西港の施設整備や機能強化を進め、恵まれた地理的優位性や高速交通体系を活かした国内外の海上輸送ネットワークの拡大を図ります。

◆ 区の概況図 ◆



基本計画

1

総論

2

重点
プラン

3

施策別
プラン

4

区ビジョン
基本方針